

令和5年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和5年8月23日（水）

地 区 弥生町地区

会 場 矢代町福祉会館

<意見交換>

◆市民 矢代町内会、・・・です。

矢代町内会なんですけれども、私どもの班は弥生町になります。そして、弥生町、家の前の道路なんですけれども、マックスバリユができて、ホームマックができて、すごい車の通りが激しくなりまして、アスファルトが剥げる、変な言い方ですけど、削れてきてるんですよ。そこをこの間、もう砂利でちょっと直していただいたんですけども、なぜアスファルトにできないのか、お聞きしたいなと思いました。

○司会 ありがとうございます。

道路の補修、そういった関係だと思います。市のほうで対応できますでしょうか。

◎維持課道路管理主幹 維持課の菅野といいます。よろしくをお願いします。

そういったような道路の今おっしゃられた穴ぼこか亀裂に関しては、元がアスファルトであればアスファルトの簡易補修剤によりまして直すことになっておりますけども、ちょっとお伺いするのは、砂利でっていうのは、もとの石が交じってるもので直すといったものでしょうか。

◆市民 そうです。

◎維持課道路管理主幹 それ、具体的に、この舗装道路の上を砂利で直すというか。

◆市民 いえ、舗装の先、端がこう、車の通りが激しいもんですから、全部えぐれてくるんですよ。分かりますか。

◎維持課道路管理主幹 はい。

◆市民 そこをこの間、砂利でちょっと補修してくださったんですけども、結局は直さないから同じことの繰り返しだと思うんですよ。だから、きちんと舗装して、がっちり直していただければありがたいなという。

◎維持課道路管理主幹 今ちょっと、後で詳しい場所をお伺いして、また、再度、私、確認しますが、基本的にはまず、すぐ穴が空いてるところには簡易補修剤、アスファルトなんですけども、簡易補修剤で直すこととしてますので、今、確実な場所をお伺いして、もしそういう砂利じゃなくて、そういう簡易舗装剤で直すべきところであればそういう対応をしますし、がっちりした補修っていうのを前提に、っていう話になりますと、また、それがどこまでの範囲になるのかというところもありますので、そこ、ちょっと再度、場所をお伺いして、どういう補修方法になるのかをまた再度お伝えしたいと思います。よろしくをお願いします。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 それでは、次の方、挙手をお願いします。

◆市民 よろしいですか。

○司会 はい、どうぞ。

◆市民 第七区親交会の・・・です。

津波についてもいいんでしょうか。

○司会 はい、大丈夫です。

◆市民 そうですか。私たちのところは西小学校の範囲に入るんですが、関係する町は何か所あるんでしょうか、西小学校に避難する町民ですね。

○司会 よろしいですか、お願いします。

◆市民 3点あるんで、1つずつ答えていただければ、お願いします。町名を言ってもらえれば助かります。管轄する町名。

◎危機管理室長 防災を担当しております危機管理室の前田と申します。よろしく申し上げます。今、西小学校に避難するのはどの地域の方ですかと、こういう話ですね。

◆市民 はい。

◎危機管理室長 避難所のエリアについては、この地区の方がこの学校というふうにはっきり決めてるわけではないんです。ないんですけれども、津波のことでいいますと、このかわいでしたら基本的には学校区をイメージしていただければいいのかなと思います。ですので、七区親交会ですか矢代町内会さんもそうですね、弥生連合町内会さんは西小学校。

◆市民 私、元町に住んで……。

◎危機管理室長 基本的には学校区をイメージしていただければと思うんですが、津波が来るというときに、要は近くの高い建物に避難をするということが大事になりますので、そこはその時々で判断していただければと思いますけども、学校をイメージしていただければいいのかなというふうに思います。

◆市民 だから、役所としては何名を対象に設定してるかは分かりますか。

◎危機管理室長 学校に避難できる人数ということで。

◆市民 それでもいいですね。学校2階の場合は何名で、3階の場合は何名避難できるのか。もしできない場合は出されるのか、紹介するのか、その辺がよく分からないんで。

◎危機管理室長 では、学校にどのぐらいの数の人が避難できるかというお話ということでお伺いさせていただきますけども、これ、津波の来る高さがこの辺で大体2メートル50センチから3メートルぐらいですね。そうしますと、西小学校、3階建てですので、2階か3階に避難していただくようになってきます。通常ですと体育館とかに避難することが多いと思いますけども、津波に関して避難する場合には2階か3階です。一つのシミュレーションですけども、2階、3階の教室に、なかなか避難所と違って寝た状態にはなりませんけども、1人1平米で避難したとすると大体400人ぐらいになります。

◆市民 400。

◎危機管理室長 400です。ただ、これ、教室ですから、本当に万が一の場合には廊下ですとか、そう

いうところにも皆さん、一時的に避難していただくこととなりますので、もう少し、500 人ぐらいは入るのでないかなというふうに思っております。

それで、今のご質問からちょっと膨らんじゃいますけども、この地区でいいますと、西小学校、高いところですけども、もうちょっと頑張れば、今度は公住もございます。あその3階のところの共有スペース、そういうところも本当に命の問題になりますので、最悪の場合には、そういうところにも避難していただくと、もう少しそこに入れる人数というのは増えてくるかなというふうに考えております。

◆市民 分かりました。すみません、ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

次の方いらっしゃいますか。要望いただいていた方、いらっしゃいませんか。どうぞ。

◆市民 矢代町内会の・・・と申します。

矢代町の公園、2号公園でしたっけ、神社の跡の公園のところに木があります。いつか分からないんですけど、古い木を、何か枝を伐採したような跡があるんですけども、片方の木の枝が枯れているんですね。それで、今後、台風でも来た場合に、もしかしたら折れるんじゃないかなという心配をしていますので、もし見ていただいて、切ったほうがいいのであれば切っていただきたいなと思っています。

○司会 ありがとうございます。

返答できますか。お願いします。

◎緑地公園課長補佐 私、緑地公園課の神野と申します。

矢代の2号公園。

◆市民 1号公園です。

◎緑地公園課長補佐 1号公園ですね。木が一部枯れているということで、我々としては、やはり日々の点検で、垂れ下がっている木だとか倒木のおそれがある木っていうのは随時発見したら、倒木の心配がありますんで、それは伐採しております。なので、今ご指摘いただいた木についても、早急にちょっと現地確認して、必要であれば伐採するなり、対処したいと思いますので、よろしくお願いします。

◆市民 いや、枝のところがちょっと皮がひび割れてきて、若干してきてるので。

◎緑地公園課長補佐 枝ですか。

◆市民 枝が。

◎緑地公園課長補佐 分かりました。はっきりと枝だけを残すだとか、それも含めてまず、現地を確認して、対応したいと思います。

◆市民 はい。

○司会 後ほど細かい場所を教えてください。

次にいらっしゃいませんか。

◆市民 弥生連合町内会の・・・と申します。

町内会の意見でもよろしいですか。時間はあんまりかかりませんが。

○司会 どうぞ。

◆市民 はい、すみません。

まず1件は、今年の5月に苫小牧市市営住宅整備計画という資料を頂いてるんですが、2030年から35年にかけて、私どもの町内会では23棟の共同住宅がございまして、そのうち7棟が道営住宅、16棟が市営住宅なんですね。この市営住宅のうち4棟はそのまま現状で残るといことなんですけど、12棟については30年から35年にかけて解体をするという計画になってるんですけども、現状、この16棟に約523戸あるんですね。これが解体、12棟で420戸がなくなるんですよ。そうすると、維持管理するのは4棟残りまして、新築が4棟で90戸、トータル155戸しか残らないわけですね。そうすると、この跡地の問題は、まだ時間がありますので、分かる範囲内でご説明をいただければと思っています。それと、この整備計画に関して、各地区の担当会長にも資料をご提示の上、ご説明いただければというお願いでございます。

○司会 ありがとうございます。

市営住宅の整備計画について、回答、お願いします。

◎住宅課長 住宅課の南川でございます。よろしくお願いいたします。

整備計画の進捗に合わせた土地の利用ということでございますけれども、通常、公共施設などを解体撤去、あるいは更地にしますというのは、まず市役所の中で、ほかの部署で利用するところがないですかという意見を集めます。で、引き合いがないですっていったときに、今度、民間企業さんなんかでも、例えば古い建物だけ使いたいよってというような企業さんもいらっしゃるんで、そういった引き合いがないかなってところもかなり我々は注意をして、もしそういったお話があれば聞くようにしております。どちらもないですといった場合については、通常は解体して、更地にして、普通財産として多いのは売却というような流れが多いところでございます。こちらの場所については、道営住宅も混在しておりまして、現時点で何に使用しますよということはまだ決定しておりません。

それと、この計画を各町内会さんにお配りしてほしいというような。

◆市民 会長ですね。

◎住宅課長 会長さんのほうに。それは早急にやらせてもらいますので、よろしくお願いいたします。

◆市民 12階については会長がお住まいなんで、あと、東地区と西地区と北地区は共同住宅にお住まいになってませんので、その担当の会長にも資料ご提示の上、内容を説明していただければと思います。

◎住宅課長 承知いたしました。お伝えしたいと思います。

○司会 どうぞ。

◆市民 じゃあ、もう1点なんですけど、このまま。

○司会 そのまま大丈夫です。

◆市民 白金町2丁目なんですけれども、昔の白金公園、今、王子製紙さんの社宅等が建ってるところの歩道と車道の縁石のある部分に相当草が伸びてるんです。長いものだと1メートル超えるのも

あるんですけども、それから花園跨線橋の下の部分も同じくかなり草が伸びてるんですけども、当然、自分の敷地の中は自分たちでやるのは義務なんですけれども、道路に生えている草、特に50センチ、1メートルになってる分の草は市役所のほうで除草される計画がおりなのか、あるとすれば時期的なものを教えていただければと思います。

○司会 ありがとうございます。

道路の縁石の草、お分かりですか。

◎維持課道路管理主幹 維持課の菅野といいます。

草刈りは主に幾つかに分かれておりまして、公園の草刈りであったり、道路の植樹帯って、木が植わっている部分の草刈り、今おっしゃられたように、路肩からとか縁石の回りから生えてる、この草刈り、主にこの3つぐらいに分けられまして、あと、もう一つ、ごめんなさい、河川の草刈りもあります。今おっしゃられたところは、道路の縁石の縁から生えてる草ですとか主に歩道と民地の間の草とか、これ、ちょっと近年、いろいろな場所でご指摘いただいておりますので、今おっしゃられた場所ですね、再度確認しまして、これからずっと見ていく路線にしまして、毎年、そこを草刈り路線っていうことで追加してまいりたいと思いますので、対応してまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

○司会 こちらも、場所のほうを後ほどお知らせいただければと、細かい場所を。

◆市民 はい、分かりました。

○司会 お願いいたします。

次にいらっしゃいますか。

◆市民 第七区親交会の・・・でございます。

青少年センターのことで意見があったんですけど、熱中症対策についてっていうことで、小学校、中学校、いわゆるルール化っていうか、対策をしっかりしてもらいたいっていう、そういった要望がありまして、今まで水筒は水だけしか駄目だったのが去年から麦茶がオーケーになったと、そういう何かルールがあるみたいなんですけど、今回のような熱中症の本当に警戒アラートが出るぐらい、また、教育するほうも、また別の問題がありましたんで、そういった対策を、安心できる対策をつくってもらいたい。そういった声があったもんですから、その辺のことを検討いただきたいと思います。

○司会 学校の熱中症対策ということで、よろしいですか。

◎総合政策部長 総合政策部長の町田です。

学校の熱中症対策、今日、担当部署が来ておりませんので、今日いただいた意見につきまして、明日、教育委員会のほうにお知らせして、基本の対応策について、また皆様のほうにご連絡するようにいたします。

◆市民 よろしく願いいたします。

○司会 そのほかいかがでしょうか。先ほど一度ご発言された方でもよろしいですが。まだ時間ありま

すけど。よろしいでしょうかね。

それでは、いらっしゃらないようですので、これで意見交換のほうを終了させていただきます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 テーマプレゼンテーション、しっかり聞いていただき、また、ご意見、ご質問いただきましてありがとうございました。

道路の問題が出ました。これ、言い訳ではありません。道路には国道、道道、市道があります。苫小牧市の市道っていうのは全部合わせると1,000キロ以上あるんです。正確な数字知ってるか。1,100ぐらいか。

◎維持課道路管理主幹 1,060キロぐらいです。

◎市長 1,060キロ。1,100、ちょっと多過ぎたな。1,000キロ以上あるというふうに、まちのサイズからして、非常に市道の延長が長いんですね。それぞれご指摘あったところについては、できることはすぐやるということですが、計画を立てながら、チェックをしながらやっても、1年間でできるところは限りがあります。ですから、もしどうしても子供たちが危ない、お年寄りが危ないというようなところはぜひ市役所に声を届けていただいて、現地を見させていただいて、本当に危険性が高いのであれば優先順位を高めて、処置をしていくってということなんです。順番にやると、1,000キロ以上ありますから、何年かかるか分からないぐらいの距離になりますので、そのことだけぜひ認識しておいていただきたいなというふうに思います。

市営住宅の話も出ました。苫小牧はもともと人口規模に応じて市営住宅の戸数が非常に多いまちであります。多いことが悪いことじゃなくて、苫小牧港の建設を山間地からたくさんの方が来ていただいて、支えてくれて、今日の苫小牧があるわけであります。ゆえに、そのときに市営住宅をたくさん造った。しかし、同じ時期にたくさん造るから、同じ時期に老朽化が来るというところで、しかも今、人口減が始まっています。市営住宅の戸数を減らそう、このままの戸数でいったらやがて財政に負担が来るということで、今、減らすことを決めて、もう数年たちます。ですから、そういう方向の中で、まちの規模に合った市営住宅の戸数を維持管理していくという方向に今、政策を取っておりますので、そのこともぜひ理解をしておいていただきたいなというふうに思います。それやこれや、時代に合わせた提言をしていかないと、結果的に市民の皆さんにご迷惑をかける、負担をかけるということになってしまいますので、そのことも併せてご理解をいただきますよう、心からお願いを申し上げたいと思います。

議長のほうから熱中症対策はしっかりやっばり、子供が亡くなるニュースが流れていますので、ぜひ議会でも熱中症が出ないように、よろしくお願ひしたいと思います。

最後までお付き合いいただきましたことを重ねて御礼を申し上げまして、最後のご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 それでは、以上をもちましてまちかどミーティングを閉会いたします。お暑い中、本当にありがとうございました。